

丹沢は南の海からきた

丹沢は約1700万年前、太平洋の海底火山として誕生し、フィリピン海プレートによって北上して、約500万年前に本州に衝突しました。さらに約100万年前の伊豆半島の衝突により丹沢の隆起と侵食が起こり、その原形が作られました。丹沢の各所で見つかる貝やサンゴ、オウムガイの化石は、太古の昔に海であったことの証拠です。登山道で踏みしめている緑色凝灰岩、大理石、花崗岩などからも、丹沢の成り立ちがうかがえます。

丹沢を特徴づける多様な環境

低山ではスギ、クヌギ、コナラなどが里山として利用してきた林、標高約800m以上ではブナやウラジロモミの自然林など、標高によって植生の移り変わりが見られます。斜面は急峻で、沢沿いにはイワシャジンやイワタバコ、尾根の岩場にはコイワザクラなどが見られるのも特徴的です。また、崩壊地が多く、特に大正時代に起きた関東大震災は激しい斜面崩壊をひきおこし、現在も崩落が続いている場所があります。



イワシャジン

このように、丹沢は標高がそれほど高くなくても多様な立地環境を有するため、ツキノワグマやニホンカモシカなどの大型哺乳類も分布し、沢沿いではヒダサンショウウオやナガレタゴガエルなどの希少な両生類の生息も確認されています。

古くから人が関わる山

「塔ノ岳」や「蛭ヶ岳」などの山名は、山岳宗教の修験の場であったことに由来しています。江戸時代には庶民の間で大山詣が盛んになりました。丹沢東部は幕府の御料林となり、丹沢六木(ツガ、ケヤキ、モミ、スギ、カヤ、クリ)が禁伐とされ厳しく管理されました。しかし戦前には、豊富な森林資源はパルプや軍用材として切り出されました。昭和30年、丹沢は国体山岳競技の会場となり、登山道や山小屋が整備され、これをきっかけに多くの登山者が訪れるようになりました。また、都心に近いが故に人間活動の影響を強く受け、近年はブナの立ち枯れやシカの食圧による植生劣化などの環境問題もおきており、神奈川県は総合的な調査を実施し、自然再生に向けたさまざまな取り組みを進めています。

丹沢についてもっと知るために

ビジターセンター

丹沢の4つのビジターセンターには、最新の自然・登山情報や丹沢の自然についての展示があり、専門のスタッフがカウンターや電話などでの問い合わせに対応しています。



休館日 月曜、祝日の翌日(土・日・祝は開館)、
年末年始(12/29~1/3)、1~3月の第2木曜日

秦野ビジターセンター

- 宮ヶ瀬ビジターセンター
〒243-0111 神奈川県愛甲郡清川村宮ヶ瀬940-15 TEL.046-288-1373
- 秦野ビジターセンター
〒259-1304 神奈川県秦野市堀山下1513 TEL.0463-87-9300
- 丹沢湖ビジターセンター
〒258-0202 神奈川県足柄上郡山北町玄倉515 TEL.0465-78-3888
- 西丹沢自然教室
〒258-0201 神奈川県足柄上郡山北町中川867 TEL.0465-78-3940

神奈川県自然環境保全センター


丹沢大山自然再生計画の推進のほか、自然公園の登山道の管理、森林、野生動物関係の業務などに総合的に取り組んでいます。

〒243-0121 神奈川県厚木市七沢657 TEL.046-248-0323(代)

展示室と自然観察園の休館日

月曜、祝日の翌日(土・日・祝は開館)、年末年始(12/28~1/4)

e-Tanzawa (丹沢大山自然環境情報ステーション)

丹沢大山の自然再生に必要な科学的情報を蓄積し、情報提供するホームページです。  <http://www.e-tanzawa.jp/>

丹沢のデータあれこれ

- 丹沢大山国定公園の面積:27,572ha ●県立丹沢大山自然公園を合わせた面積:38,927ha(神奈川県面積の16%) ●特別保護地区の面積:1,867ha ●国定公園指定年月日:1965年3月25日指定 ●自然公園歩道(登山道)の総延長:308km ●標高1,500m以上の山の数:9座 ●年間の登山者数:26万~31万人 ●登山者の多い山:大山は1日に3,061人¹⁾ ●最も古い地質:約1700万年前(塔ヶ岳層群) ●丹沢にある一等三角点:丹沢山 ●維管束植物の種類数:158科1,627種と、絶滅したと判断される種が46種 ●哺乳類の種類数:在来種15科38種(絶滅種3種を含む、本州産の陸生哺乳類の84%) ●ニホンジカの推計生息数:4,000~4,900頭²⁾ ●最も大きな樹木:山北町の箬杉(推定樹齢約2000年、樹高45m、胸高周囲12m)³⁾ ●最も高い滝:西沢本棚沢の涸棚(120m)⁴⁾ ●丹沢と名の付く生物:タンザワイケマ、タンザワウマノスクサ、タンザワヒゴタイ、タンザワナガゴミムシなど

¹⁾ 数回の調査の最高値、5月連休に記録 ²⁾ 2009年度 神奈川県自然環境保全課

³⁾ 神奈川の名木100選 ⁴⁾ 日本登山体系4 東京近郊の山



神奈川県

発行

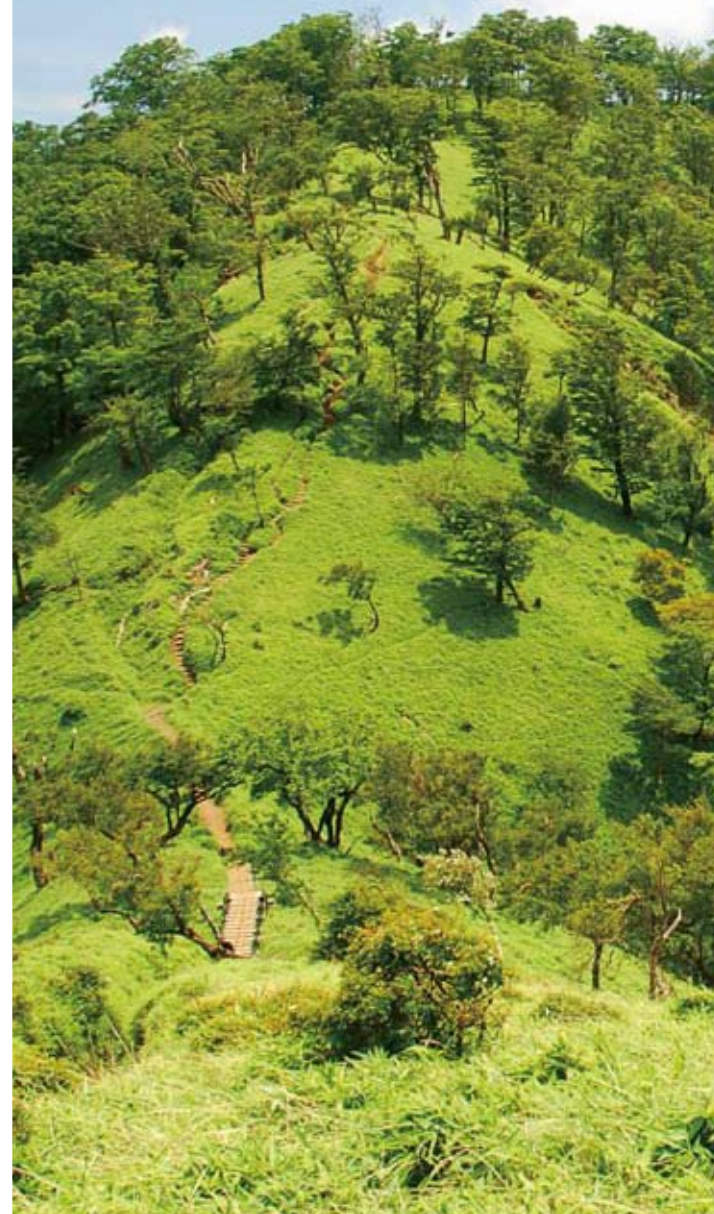
神奈川県自然環境保全センター
2011年3月

財団法人神奈川県公園協会より、資料提供等のご協力をいただき作成しました。

このパンフレットは再生紙を使用しています。

丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園

TANZAWA-OYAMA



丹沢は自然公園

身近な大自然

丹沢は富士山の東側、都心からは西に約50kmの距離にあり、東端にある大山の姿は関東平野の各地から見ることができます。



南北20km、東西40kmの範囲には、神奈川最高峰の蛭ヶ岳(1,673m 写真左端)をはじめ、標高1,500m以上の山が9座あります。主尾根はなだらかですが、短いながらも大滝を抱えた急峻な谷が多くあります。

自然をまもり、利用する公園

丹沢は自然公園法に基づき「丹沢大山国定公園」と「県立丹沢大山自然公園」に指定されています。自然公園は、優れた風景地の保護と適正な利用の促進、生物多様性の確保を目的に指定され、運動場や遊具などを整備した都市公園とは異なります。

面積の6割以上を私有地が占め、農林業や観光業も営まれています。その一方、標高1,300m以上の稜線部を中心とした約1,867haは自然が良好な状態で残された区域として特別保護地区に指定され、動植物の捕獲・採取、植栽、たき火などのほか、落ち葉や石の採取すらも厳しく規制されています。

険しくも親しまれる丹沢

やせ尾根や鎖場のある険しい山でありながら、都心から交通の便が良い丹沢には、多くの登山者が訪れます。

山麓ハイキング、小屋泊まりの縦走、積雪期の本格的な登山、沢登りなど、丹沢は、登山の初心者から上級者まで、1年を通じて親しまれています。

登山中に目にする富士山や相模湾の遠望、眼下に広がる街の眺め、春のツツジや秋の紅葉など四季折々の自然には、何度も足を運びたい魅力があります。



丹沢のために できること

丹沢で起こっている自然環境問題の中には、登山者が多く訪れることが原因となっていることもあります。登山者一人ひとりの心掛けが丹沢を守ることにつながります。

●登山者が階段やぬかるみを避けて登山道のまわりを歩いたため、生えていた植物が踏まれて枯れてしまい、荒地が広がってしまった場所があります。

→ 私は登山道を外れずに歩きます

●丹沢は多くの人に利用される水源です。山頂などにある公衆トイレでは、排水を周囲に流さずに微生物の力でし尿を分解していますが、紙類は分解しにくいので、持ち帰りをお願いします。

→ 私はトイレを利用し、紙を持ち帰ります

●採取され続けたことにより丹沢から消えてしまった植物があります。山の植物は山の環境に適応しているため、他の場所では生育できないものもたくさんあります。

→ 私は植物の採取をしません

●人の食べ物の味を覚えたり、警戒心の薄い野生動物が増えています。野生動物と人との距離が縮まることは、様々な事故につながり、人間に危害や被害を与えた動物は駆除される可能性があります。

→ 私は野生動物にえさを与えません

●ごみは景観をそこねるだけでなく、土壌、動植物など自然への影響があります。

→ 私はごみを持ち帰ります

安全登山のために

丹沢では滑落や道迷い、体調不良などによる山岳遭難事故が毎年数十件起きています。事前にしっかり情報を収集し、万全の装備と自分の体力にあったゆとりある登山計画を立てましょう。